

東京湾環境一斉調査への参加についてのQ&A

Q1. 事業所等の排水口を水質調査の観測点にしてもよいですか？

A1. 基本的には、近くの海や河川等の測定をお願いしていますが、貴社が通常行っている排水口での測定でも参加可能です。

この一斉調査の取組では、できる限り多くの企業やNPOの皆様の参加を求めています。是非ともご参加ください。

Q2. 測定日、測定項目をもう少し具体的に教えてください

A2 現場での測定作業は8月2日、又は8月2日近辺（8月2日の含まれる1週間）に行ってください、測定データを可能な限り早く提出いただきたいと思います。

測定項目は、陸域の河川等では、水温、化学的酸素要求量（COD）、流量、溶存酸素量（DO）、透視度、海域では、水温、塩分、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透明度のそれぞれ5項目としています。全ての項目について測定が実施されることが望ましいですが、測定が困難な項目については除いていただいても結構です。

排水口での測定は、通常測定して頂いている汚濁負荷量の測定項目などで結構です。

Q3. 測定方法はパックテストなどの簡易測定法でもよいですか？

A3 水質汚濁の解析や研究のためのデータはJIS法等による測定が望ましいと考えています。

従って、企業の皆様の参加の場合は可能な限りJIS法等の公定された測定方法によりお願いします。しかし、パックテストなどの簡易測定法による参加も可能です。できる限り多くの企業やNPOの皆様にご参加いただきたいと思いますので、是非ともご参加ください。

Q4. 透明度調査はどのように行えばよいでしょうか？

A4 透明度は、透明度板（セッキー円盤）と呼ばれる直径30cmの白色円盤を水中に沈め、上から見える限界の深さを調べるものです。透明度の調査には、自作した道具を用いていただいても構いません。なお、調査に際しては、くれぐれも事故のないようご注意ください。

参考HP（文理）：<http://www.ecology-kids.jp/research/a05.html>

Q5. 観測地点の緯度経度の調べ方がわからないのですが

A5. 海上保安庁のホームページ（<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>）や、国土地理院のホームページ（<http://maps.gsi.go.jp/>）で調べることができますので、できるだけ各調査点の緯度、経度について度・分・秒でご記入くださいますようお願いいたします。

Q6. 一斉調査のデータはどのように、公表されるのですか？

A6 調査により測定されたデータは、原則として誰でも活用できるよう、ホームページ上で公開する予定です。

Q7. データは公表するほかにはどのように利用されるのですか？

A7 ご提出頂いた調査結果は、データベース化し、どなたでもご自由に活用できるようにホームページ上で公開する予定です。また、これらのデータは、国や地方自治体の研究機関、大学等が研究を行う時に利用されることが考えられます。

昨年度までの調査結果は東京湾環境情報センターのホームページからダウンロードができるようになっています。

東京湾環境情報センターHP : <http://www.tbeic.go.jp/WEBGIS/Download01.asp>

Q8. この調査の成果はどのようにまとめられるのでしょうか？

A8 調査によるデータが収集されましたら、「東京湾環境一斉調査ワークショップ」を開催し、一斉調査参加者と東京湾の環境研究者によって解析を行う予定です。開催概要が決まりましたら、調査参加の皆様へご案内いたしますので、是非ご参加ください。一斉調査及びワークショップの成果として、報告書のほか「東京湾環境マップ」を作成します。

なお、東京湾環境マップや、東京湾再生推進会議のホームページ等の公表資料に掲載するため、調査やイベントの写真を募集しますので、皆様ご提供くださいますようお願いいたします。